

(別紙)

## 平成24年度 産業廃棄物税基金充当事業 実績報告書

事業名：食品循環資源飼料化推進事業  
事業実施予定期間：平成20年度から平成24年度  
担当課室名：農林水産部畜産課  
担当班名 草地飼料班 TEL：211-2852  
e-mail：tikusan01@pref.miyagi.jp  
URL：http://www.pref.miyagi.jp/tikusanka/

### 1 事業の目的

家畜に給与される飼料の多くは輸入に依存しており、国際穀物相場の影響を大きく受け、畜産経営にとって大きな不安定要素となっている。その解決策の一つとして食品残さの飼料化（エコフィード）が挙げられるが、エコフィードの飼料としての品質確保と経済的評価には、未利用・低利用資源の家畜への給与方法等の検討が必要である。

一方、食品事業者では食品廃棄物再生利用に努めているが、エコフィードを推進するためには、関連法令等の遵守や食品残さ等利用飼料の安全性の確保が重要である。

食品残さの飼料化（エコフィード）を推進するため、需給調査、普及啓発パンフレットの作成・配布、食品事業者と利用者（畜産農家）とのマッチングや普及啓蒙を図る。

### 2 当該年度の実施事業の概要

エコフィード製造業者に対して製造量の調査及びホームページ(中央畜産会)の情報更新を行った。また、食品残さを利用した発酵TMR型飼料の製造の技術支援及びパンフレットを作成し、普及啓蒙を行った。

新たに、食品残さの飼料化に取り組む意欲のある自治体に対して、エコフィードの普及啓蒙の支援を実施した。

### 3 当該年度の実施事業の成果

食品残さを飼料化の課題を解決する方法として、発酵TMR型飼料とすることにより、保存性や飼料成分が改善され今後さらなる利用の拡大が期待される。

### 4 今後の展開

発酵型TMR飼料の製造方法を先進事例として、今後未利用食品残さの飼料化を推進するとともに、食品業者と畜産農家等のマッチングを行う。

### 5 廃棄物の削減・リサイクル、適正処理の促進の効果等を示す指標の数値 (指標：動植物性残さ再生利用率)

単位：%

平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
60	77	76	81	65	58

### 6 事業費の推移

単位：千円

平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
557	362	628	0	154